編 修 趣 意 書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-20	中学校	道徳科	道徳	第２学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38光村	道徳 803	中学道徳　２　きみが いちばん ひかるとき		

1. 編修の基本方針

生徒一人一人が自信をもって生きていくために

人格の完成を目ざすところとする教育基本法に基づき，これからの学校には，一人一人の生徒が，

- **自分のよさや可能性を認める**
- **あらゆる他者を価値のある存在として尊重する**
- **多様な人々と協働しながら，さまざまな社会的変化に対応する**
- **豊かな人生を切り拓き，持続可能な社会の創り手となる**

ことができるように育んでいくことが，求められています。私たちは，これらの実現を目ざして，３つの方針に則って教科書を編修しました。

1　成長に寄り添い，効果的な学びを！

・年間を３つのシーズン（まとまり）に区切り，学校生活の流れと，生徒の１年間の成長を考慮した構成にしました。
・シーズンを，テーマをもったユニットに分け，一つ一つの学びが効果的につながるよう，教材の配列を工夫しました。

2　主体的・対話的で深い学びを！

・生徒の主体的・対話的な学びが促せるよう，１時間１時間，何について考えるのかを明示しました。
・１時間の学びを，他教科や日常生活，これまでの道徳の時間に学んできたこととつなげられるように工夫しました。

3　「学びに向かう力」を育むために！

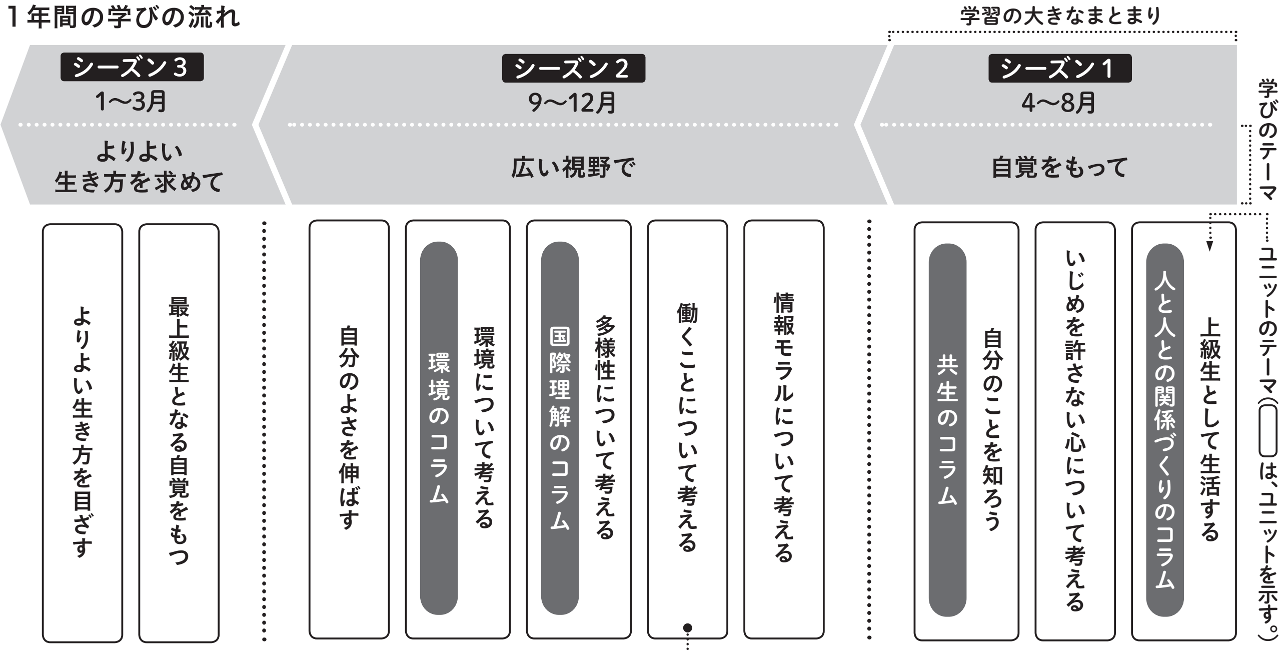
・35時間の中に，学びの見通しをもつ時間・学びを振り返る時間を位置づけました。
・生徒が，自己肯定感を高めるとともに，「自分の学びを意味づける力」を身につけられるよう，教材化しました。

1　成長に寄り添い，効果的な学びを！

成長に寄り添った年間構成の工夫

- 学校生活の実態と，それに伴う生徒の成長を考慮した年間構成となるよう，１年間を３つのシーズン（まとまり）に分けました。
- シーズンの冒頭には，「学びのテーマ」と，作家あさのあつこさんによる語りかけの言葉を掲げたとびらを設け，学びの入り口としました。
- 各シーズンは，「学びのテーマ」に応じて，複数の教材を組み合わせた「ユニット」で構成しています。ユニットにも，「学びのテーマ」に応じたユニットごとのテーマを掲げています。

１年間の学びの流れ



B(7)礼儀
▼
C(13)勤労
▼
C(17)我が国の伝統と文化の尊重，国を愛する態度
▼
C(16)郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度
▼
A(5)真理の探求，創造

シーズン２　広い視野で
「働くことについて考える」の学びの流れ

「ユニット」化で効果的な学びを実現

ユニット内の教材は，１時間の学びが，単独ではなく，教材から教材へと有機的に結び付くよう配慮しています。

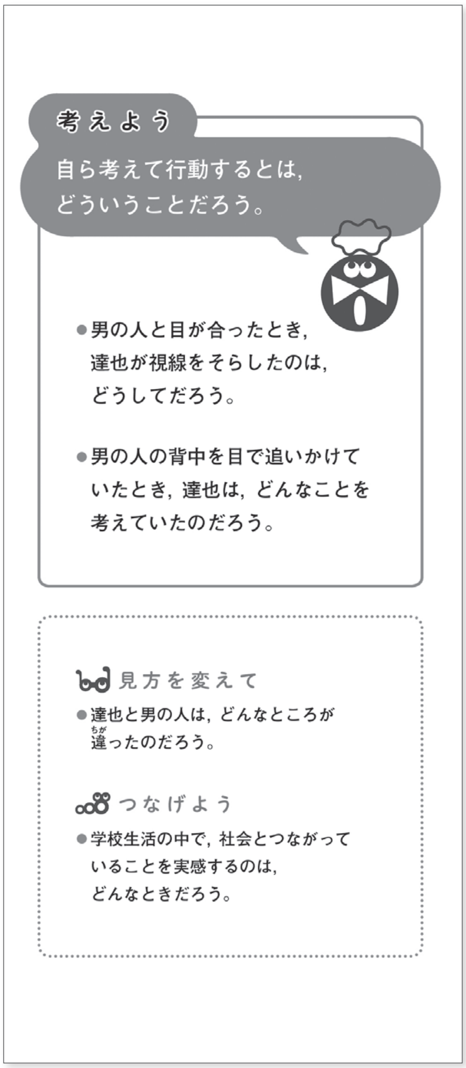
例えば，シーズン２「広い視野で」のユニット「働くことについて考える」では，礼儀の意味や勤労することの価値を学んだうえで，国の伝統を受け継ぐ心，郷土を愛する心，さらに真理を求め新たなものを創造する心について考えを深め，これから社会に出て「働くことの意味」を学んでいくことができる流れになっています（左図）。ユニットを通して効果的に学ぶことができます。また，これらのユニットは，教科書192ページに示した，「この教科書が目ざした２年生の姿」に向かう構成となるよう意識しています。

もちろんこれらの配列は絶対的なものではなく，各学校の教育目標に照らして，並び替えたり教科書以外の教材と併用したりすることも可能です。

2 主体的・対話的で深い学びを！

主体的・対話的な学びの姿，多面的・多角的な見方を引き出す「てびき」

p.16 ③「カラカラカラ」


考えよう
自ら考えて行動するとは，
どういうことだろう。

●男の人と目が合ったとき，
達也が視線をそらしたのは，
どうしてだろう。

●男の人の背中を目で追いかけて
いたとき，達也は，どんなことを
考えていたのだろう。

見方を変えて
●達也と男の人は，どんなところが
違(ちが)ったのだろう。

つなげよう
●学校生活の中で，社会とつながって
いることを実感するのは，
どんなときだろう。

考えよう

生徒が，教材を通して何を学ぶのか（**めあて**）をはっきりと意識することができるようにしました。

次に，めあてに迫るため，次のような２つの問い「●」を設定しました。

①道徳的な問題を明らかにする問い（課題の設定）

②道徳的な価値についての理解や自覚を深める問い（中心となる発問）

また，最後にもう一度，「考えよう」に掲げためあてに戻ることで，本時のまとめができるようにもなっています。

見方を変えて

生徒が，**多面的・多角的**な見方や考え方ができるよう，「考えよう」とは切り口を変えた問いを設定しました。

つなげよう

他教科や日常生活との関連，他教材との関連，関連する図書の紹介等を，教材の特質に合わせて示しています。道徳の学びが１時間の授業で終わってしまうのではなく，そこからさらに深く考えたり，行動につなげたりできるよう工夫しました。

学びを確実なものに――「深めたいむ」

年間に４か所，複数時間で取り組む教材「深めたいむ」を用意しました。読み物教材で学んだ道徳的価値を，活動を通して確かめ，さらに深く実感を伴って考えることができるよう工夫しました。特に，いじめ問題と情報モラルに関わる内容については，全学年で取り上げ，生徒たちの身近で起こりそうな場面を通して，自分のこととして捉え直すことができるようにしました。

p.37-38 ⑦「深めたいむ」（いじめを許さない心について考える）

3 「学びに向かう力」を育むために！

学びの見通しをもつこと・学びを振り返ることの大切さ

- 第１教材には「道徳の授業を始めよう！」，最終教材には「道徳の学びを振り返ろう」を位置づけました。
- 「道徳の授業を始めよう！」では，道徳を学ぶ価値について考えます。２年は，道徳という教科では「何を学ぶのか」，「なぜ学ぶのか」を確認します。（１年では，「どのように学ぶのか」を考えています。そのうえに，２年「なぜ学ぶのか」，３年「なぜいっしょに学ぶのか」が積み上げられます。）１年間の学びの見通しをもち，学びに向かう姿勢を整えることができるよう，工夫しました。

- 「道徳の学びを振り返ろう」では，１年間に学んできたことを振り返り，自分の学びにはどのような意味があったのか，どのような価値があったのかを自己評価できるよう，工夫しました。学びが，自分の中でどのように生きているかを評価したり意味づけたりする力を養うことは，「学びに向かう力」を育むことにつながります。

p.8-9

どうやって学ぶの？

道徳は，どうやって学んでいけばよいのでしょう。
道徳の時間は，①教材を通して道徳的な問題を見つけ，②その問題について考えを深め，③深めた考えを，自分の生活で生かしていけるようにする，という流れを基本にしています。
他者との対話，そして，自分自身との対話を通して，考えを深めていきましょう。

「他者」との対話
グループやクラスで意見を出し合ったり，議論したりすると，どんなことに気づくだろう。

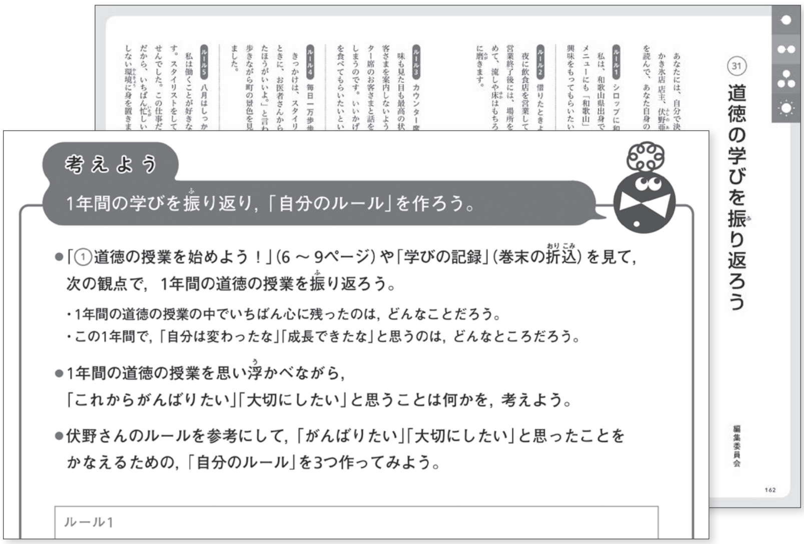
「自分」との対話
自分を見つめると，どんなことに気づくだろう。

なぜ学ぶの？

なぜ，道徳を学ぶのでしょう。
例えば，私たちは問題にぶつかったとき，その時々で，どうすればよいのかを考え，判断し，行動しています。
できれば「よりよい行動を選択したい。」「後悔しないで済む行動を取りたい。」と考えるでしょう。それが，よりよく生きることにつながっていくからです。
このとき，幾つもの感じ方や考え方，ものの見方をもっていることが，私たちをよりよく生きることに導いてくれます。
私たちは，多様な考え方や感じ方，ものの見方を身につけるために，道徳を学んでいくのです。

つなげよう
●小学校のときに学んだお話で，「道徳」の学習をスタートしてみよう。
㉟泣いた赤おに

p.162-163


㉛ 道徳の学びを振り返ろう

編集委員会

考えよう
1年間の学びを振り返り，「自分のルール」を作ろう。

●「①道徳の授業を始めよう！」（6～9ページ）や「学びの記録」（巻末の折込）を見て，次の観点で，1年間の道徳の授業を振り返ろう。
・1年間の道徳の授業の中でいちばん心に残ったのは，どんなことだろう。
・この1年間で，「自分は変わったな」「成長できたな」と思うのは，どんなところだろう。
●1年間の道徳の授業を思い浮かべながら，「これからがんばりたい」「大切にしたい」と思うことは何かを，考えよう。
●伏野さんのルールを参考にして，「がんばりたい」「大切にしたい」と思ったことをかなえるための，「自分のルール」を3つ作ってみよう。

ルール1

p.164

全ての生徒にとって使いやすく，わかりやすく

特別支援教育への配慮

教科書全体において，色覚特性や特別支援教育の専門家による校閲を受け，全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。

人権上の配慮

教科書全般にわたって，教材や挿絵に登場する人物や執筆者に性別による偏りがないようにするとともに，人種・身体的特徴などについても多様性に意を用い，人権に配慮した記述としました。また，人権教育の専門家に，全面的な校閲をお願いしました。

保護者への配慮

第１教材や巻末の「先生方・保護者の方々へ」などで，この教科書が目ざすところを保護者にも発信し，学校，家庭，地域の連携を図りました。

2. 対照表

［ 第２学年 ］

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当頁
巻頭詩	豊かな情操と道徳心を培うとともに，個人の価値を尊重して創造性を養うために，詩の形式をとった生徒へのメッセージを掲載した。	第一号， 第二号	表2-1
1　道徳の授業を始めよう!	幅広い知識と教養を身につけ，豊かな情操と道徳心を培うために，道徳を学ぶ意義を考えるとともに，疑問を追究していく態度や他者を尊重しながら意見交流すること，自分自身を見つめることの大切さを感じることができるようなページを設けた。	第一号， 第二号	6-9
10　あと一歩だけ，前に	幅広い知識と教養を身につけ，豊かな情操と道徳心を培うとともに，健やかな心身を養うことの大切さに気づくことができるよう，生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ，教材を配置した。	第一号	47-49
12　夢中になるのは悪いこと?			58-64
25　人って，本当は?			130-133
〈付録〉32　箱根駅伝に挑む			166-169
〈広げよう〉人と人との関係づくり 感情をマネジメントしてみよう			26-27
11　異なり記念日	個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，成長する喜びが感じられるよう，生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ，教材を配置した。	第二号	50-54
17　スカイツリーにかけた夢			84-88
24　優しさの光線			124-128
26　夢の力			134-141
27　嫌われるのを恐れる気持ち			142-144
3　カラカラカラ	他者との関わりの中で，自己を見つめ，自主及び自律の精神を養うことができるよう，生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ，教材を配置した。	第二号	14-16
4　ジコチュウ			17-20
9　許せないよね			43-46
〈付録〉33　アイヌの歌を歌いたい			170-173
6　消防団	職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養うとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与することの大切さに気づくことができるよう，生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ，教材を配置した。	第二号， 第三号	28-32
13　秀さんの心			65-68
14　段ボールベッドへの思い			69-72
18　民主主義と多数決の近くて遠い関係			89-95
2　テニス部の危機	他者との関わりの中で，正義と責任，男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう，生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ，教材を配置した。	第三号	10-13
5　松葉づえ			21-25
7　明日，みんなで着よう			33-38
19　「桃太郎」の鬼退治			96-98
28　気づかなかったこと			145-149
29　クロスプレー			150-155
〈付録〉35　泣いた赤おに			178-183
〈広げよう〉共生　聴覚の障害について知ろう			55-56
8　命が生まれるそのときに	自他の生命を尊び，それらの生命を取り巻く自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう，生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ，教材を配置した。	第四号	39-42
21　僕の仕事場は富士山です			108-113
22　宇宙の始まりに思いを寄せて			116-120
23　つながる命			121-123
30　泣きすぎてはいけない			156-161
〈広げよう〉環境　国立公園を楽しもう			114-115
15　一枚の布から	伝統と文化を尊重し，それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに，他国の伝統や文化を理解し，国際社会の平和を願う態度を養うことができるよう，生徒の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ，教材を配置した。	第五号	73-77
16　私の町			80-83
20　むこう岸には			99-105
〈付録〉34　アンネのバラ			174-177
〈広げよう〉国際理解　国際人道支援 ―どんな仕事があるのだろう			106-107
31　道徳の学びを振り返ろう	豊かな情操と道徳心を培うとともに，自主及び自律の精神を養うことができるよう，学習した道徳的価値やそれに関連した自分自身のことを振り返ることのできるページを設けた。	第一号， 第二号	162-164
なんだろう　なんだろう	幅広い知識と教養を身につけ，真理を求める態度を養い，豊かな情操を培うことができるようなページを設けた。	第一号	78-79
〈付録・広げよう〉人と人との関係づくり 大人と接するときには	教材と関連して，幅広い知識や豊かな人間関係を築こうとすることができる内容を付録として設けた。	第一号	184
〈付録〉日本各地の世界遺産	教材と関連して，伝統と文化を尊重し，それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度が養える内容を付録として設けた。	第五号	185-187
〈付録〉あなたへのメッセージ	豊かな情操と道徳心を培うとともに，個人の価値を尊重し，その能力を伸ばそうとする態度を養うことができる内容を付録として設けた。	第一号， 第二号	190-191
学びの記録	個人の価値を尊重し，その能力を伸ばしていくために，学習した道徳的価値や，それに関連した自分自身のことを振り返り，自己評価ができるよう，学習を振り返る書き込み欄があるページを設けた。	第二号	折込

編修趣意書

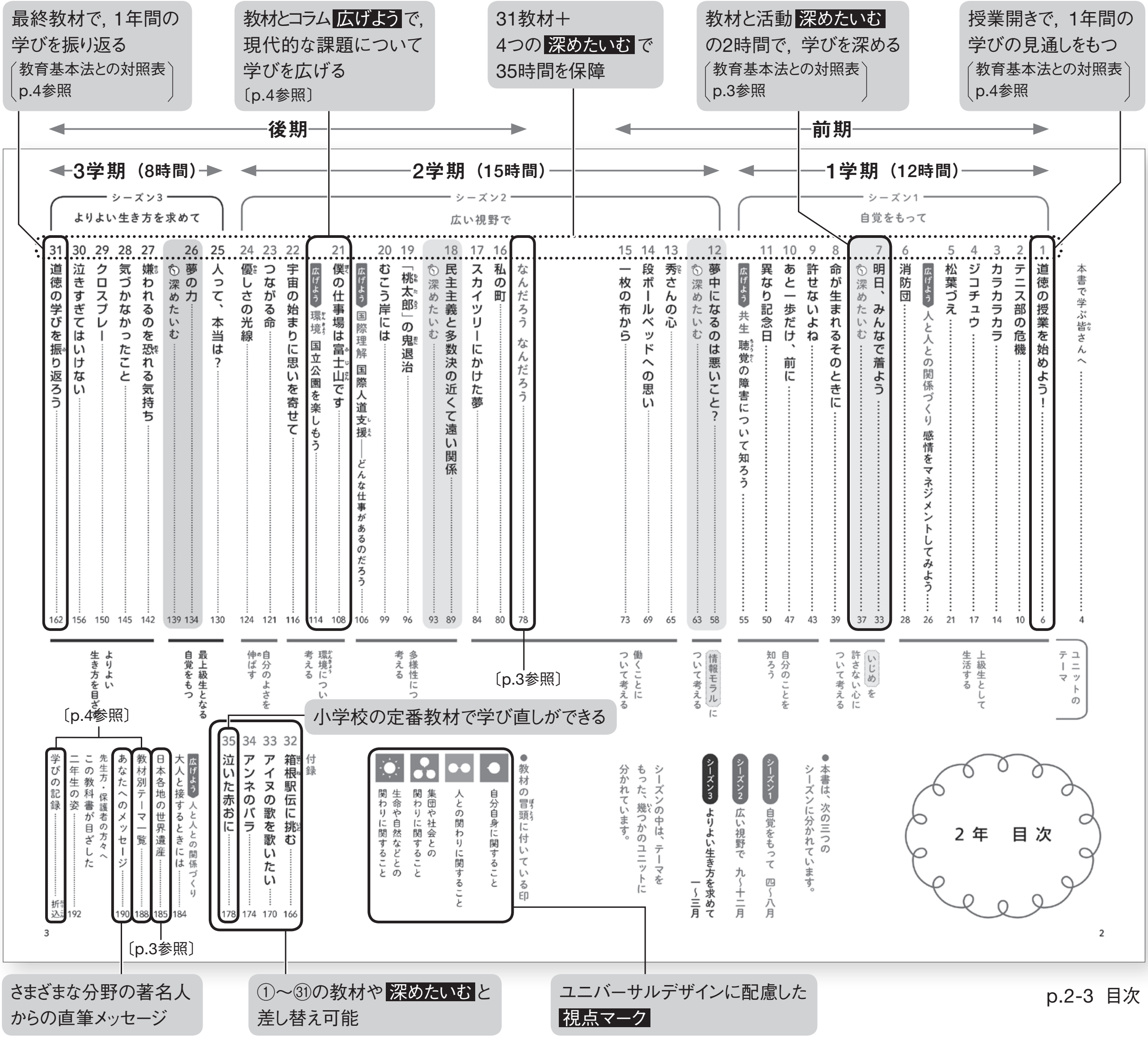
学習指導要領との対照表，配当授業時数

※受理番号	学校	教科	種目	学年
31-20	中学校	道徳科	道徳	第２学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38光村	道徳 803	中学道徳　２　きみが いちばん ひかるとき		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 教科書の構造が学びの質を高める!

生徒の発達段階，学校行事等との関連に意を用いながら，学びが必然性をもって連なっていくような構造を目ざしました。



p.2-3 目次

2 教材の構成が授業を支える!

教材には，1時間の学びの道すじを示したてびきを用意し，ユニバーサルデザインや特別支援教育など多様性の観点から，見やすく読みやすい紙面にしました。

環境に配慮した紙に，植物性インキを用いて印刷

コンパクトなB5判を採用

本文は読みやすいUDフォントを使用

内容項目のタグの明示により，本時の大枠のねらいを把握

形と色で判別できる視点マーク

学びの道すじを示したてびき
（教育基本法との対照表 p.3参照）

p.73-77 ⑮「一枚の布から」

国の伝統と文化

⑮ 一枚の布から

「来週は、夏祭りだねえ。そうだ、友希、そろそろお父さんのゆかたが、着られるんじゃないかな。」
夕食のとき、おばあちゃんが言った。お父さんもそれに続けて、
「たしか、高校生のときに仕立ててもらった紺のゆかただね。よく着せてもらったな。友希、おばあちゃんに着せてもらったらいいよ。」
と言った。僕は、ゆかたになんて興味がない。それに、お父さんが高校生のときに着ていたものなんて、古くさくて、かっこわるい。
「面倒くさいから、いいよ。」
僕は、食事をさっさと済ませて、自分の部屋に行った。
次の日、学校で仲のよい友達数人と話をしていると、夏祭りの話題になった。すると、いっしょに話をしていた桜が言った。
「ねえ、来週の夏祭り、みんなでゆかたを着ない？　この前、リサイクルショップに行ったら、すてきなゆかたがたくさんあったんだ。」

編集委員会 Minoru 絵

73

著作者名を明示

朗読や動画など，興味・関心を引くデジタルコンテンツを用意

「KIMONOプロジェクト」の作品

イタリアをイメージしてデザインされた着物。

ケニアをイメージしてデザインされた着物。

アメリカをイメージしてデザインされた着物。

ザインしていて、シャツやパンツと組み合わせる着物などが紹介されていた。海外で、着物についての講演や展示もしている。

「KIMONOプロジェクト」を企画した高倉慶応さん

高倉さんは、着物業界が厳しい状況にある中、五十年後の子供たちにも着物を見せたいと考えた。そして世界中の国や地域を表した着物を作ることを、日本全国の着物作家や織物職人に呼びかけた。百もの国や地域それぞれの自然や風景が描かれた着物が舞台に並んだ写真は、壮観だった。

僕は調べているうちに、初めてゆかたを着た日を思い返していた。「お父さんのゆかたも、いつか僕が……。」そう思うと、こんなつながりもいいなと思えてきた。

キサブローさんのデザインした袴を、洋服と合わせて着る女性。

考えよう
伝統を受け継ぐとは，どういうことだろう。
●おばあちゃんに「着せてくれて，ありがとう。」と言ったとき，「僕」は，どんなことを思っていただろう。
●「僕」は，どんな「つながり」がいいなと思えてきたのだろう。

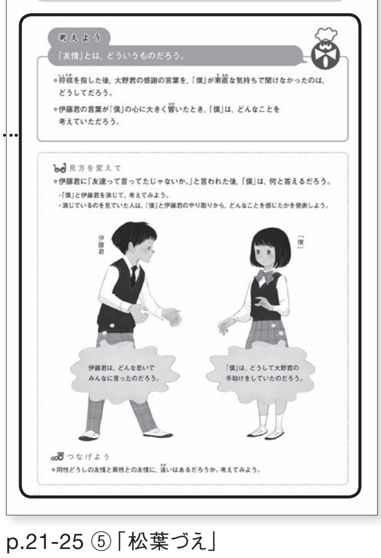
見方を変えて
●おばあちゃんは，どんなことを思いながら，友希にゆかたを着せたのだろう。

つなげよう
●あなたが大切にしていきたい日本の文化は，何だろう。

77

理解を促す挿絵や臨場感あふれる写真を多用

体験的な学習（役割演技）を通して，実感をもって道徳的価値について考えを深めていくてびきも用意



考えよう
「友情」とは，どういうものだろう。
●将棋を指した後，大野君の感謝の言葉を，「僕」が素直な気持ちで聞けなかったのは，どうしてだろう。
●伊藤君の言葉が「僕」の心に大きく響いたとき，「僕」は，どんなことを考えていただろう。

見方を変えて
●伊藤君に「友達って言ってたじゃないか。」と言われた後，「僕」は，何と答えるだろう。
・「僕」と伊藤君を演じて，考えてみよう。
・演じているのを見ていた人は，「僕」と伊藤君のやり取りから，どんなことを感じたかを発表しよう。

つなげよう
●同性どうしの友情と異性との友情に，違いはあるだろうか。考えてみよう。

自然愛護

㉑ 僕の仕事場は富士山です

近藤光一 著

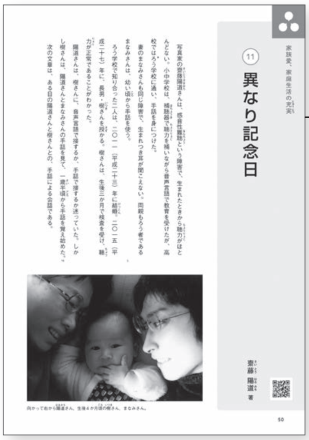
109　108

p.21-25 ⑤「松葉づえ」

p.108-113 ㉑「僕の仕事場は富士山です」

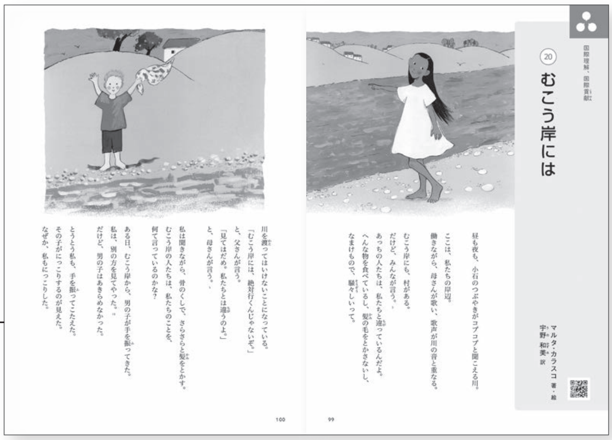
3 「生きて働く」道徳性を養う！

毎時間，生徒が興味・関心をもって授業に取り組めるよう，
さまざまなジャンルの素材を，多面的・多角的に考えることができる教材にしました。



聴覚に障害がある筆者が子供とふれあう姿を通して，家族について考える教材

p.50-54 ⑪「異なり記念日」



橋のない川の両岸に住む子供どうしが友情を結んでいく姿から，国際理解について考える教材

p.99-105 ⑳「むこう岸には」

p.145-149 ㉘「気づかなかったこと」

社会や人々のよいところに気づく主人公の姿から，他者への思いやりや感謝について考える教材

生徒の日常生活にありがちな場面や判断を求められる場面を取り上げた教材で，問題解決的な学習を実現

p.10-13 ②「テニス部の危機」

教材と結び付けて考えたり，住んでいる地域と関連させて考えたりすることができる，
主体的な学びを促すコーナーを適切に配置しました。

生徒が，また，先生方も「なんだろう」と思わず考えたくなるような，素朴ながら答えのないテーマについて，絵本作家ヨシタケシンスケさんの描きおろし作品を掲載しました。

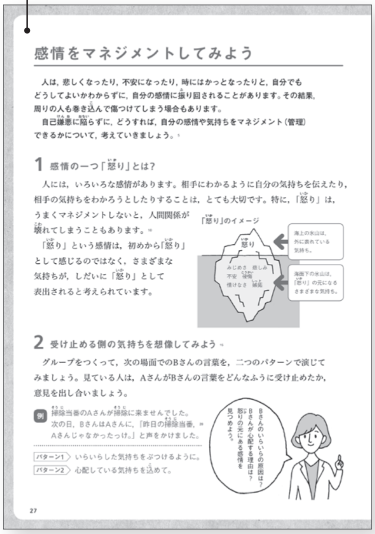
p.78-79「なんだろう　なんだろう」

日本各地の世界遺産にふれることを通して，自分の住んでいる地域に引きつけて自然や文化について考えられる付録を用意しました。

p.185-187「日本各地の世界遺産」

いじめ問題をはじめ，生徒に考えてほしい「現代的な課題」について，教材と結び付けて考えられるようなページを用意しました。

他者とのよりよい関係を築くこつがわかるコラム **広げよう**「人と人との関係づくり」を２か所に掲載。いじめの抑止につなげます。



感情をマネジメントしてみよう

人は，悲しくなったり，不安になったり，時にはかっとなったりと，自分でもどうしてよいかわからずに，自分の感情に振り回されることがあります。その結果，周りの人も巻き込んで傷つけてしまう場合もあります。

自己嫌悪に陥らずに，どうすれば，自分の感情や気持ちをマネジメント（管理）できるかについて，考えていきましょう。

1 感情の一つ「怒り」とは？

人には，いろいろな感情があります。相手にわかるように自分の気持ちを伝えたり，相手の気持ちをわかろうとしたりすることは，とても大切です。特に，「怒り」は，うまくマネジメントしないと，人間関係が壊れてしまうこともあります。

「怒り」という感情は，初めから「怒り」として感じるのではなく，さまざまな気持ちが，しだいに「怒り」として表出されると考えられています。

2 受け止める側の気持ちを想像してみよう

グループをつくって，次の場面でのBさんの言葉を，二つのパターンで演じてみましょう。見ている人は，AさんがBさんの言葉をどんなふうに受け止めたか，意見を出し合いましょう。

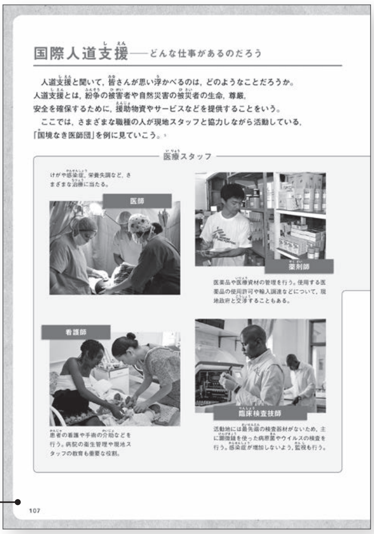
例　掃除当番のAさんが掃除に来ませんでした。次の日，BさんはAさんに，「昨日の掃除当番，Aさんじゃなかったっけ。」と声をかけました。

パターン1　いらいらした気持ちをぶつけるように。
パターン2　心配している気持ちを込めて。

27

p.26-27 **広げよう** 人と人との関係づくり
「感情をマネジメントしてみよう」

p.106-107 **広げよう** 国際理解
「国際人道支援
―どんな仕事があるのだろう」



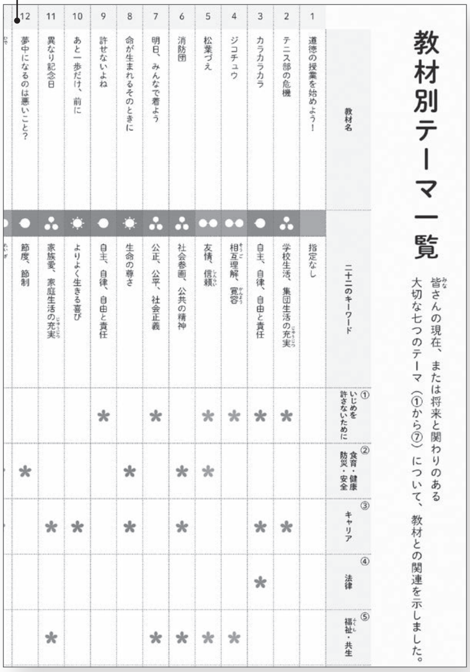
国際人道支援――どんな仕事があるのだろう

人道支援と聞いて，皆さんが思い浮かべるのは，どのようなことだろうか。
人道支援とは，紛争の被害者や自然災害の被災者の生命，尊厳，安全を確保するために，援助物資やサービスなどを提供することをいう。
ここでは，さまざまな職種の人が現地スタッフと協力しながら活動している，「国境なき医師団」を例に見ていこう。

107

現代的な課題の中でも特に考えてほしい，共生や環境，国際理解についても掲載。

現代的な課題との関連がひと目でわかる，「教材別テーマ一覧」を掲載。



教材別テーマ一覧

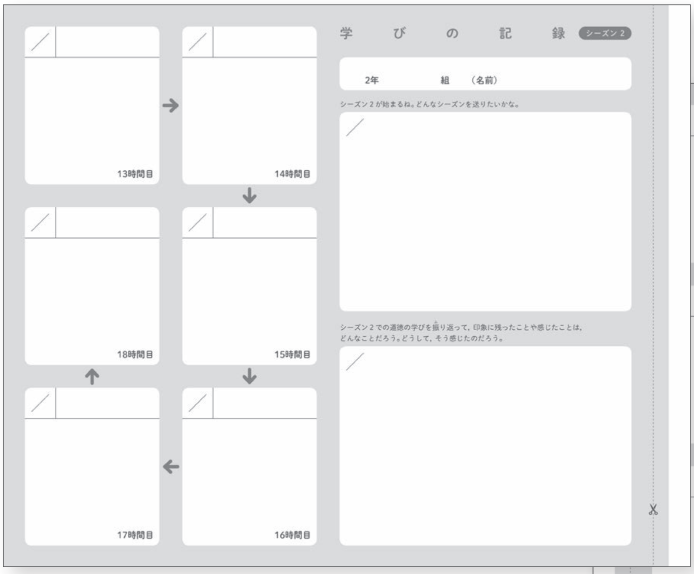
皆さんの現在，または将来と関わりのある大切な七つのテーマ（①から⑦）について，教材との関連を示しました。

	教材名	二十二のキーワード	① いじめを許さないために	② 食育・健康 防災・安全	③ キャリア	④ 法律	⑤ 福祉・共生
1	道徳の授業を始めよう！	指定なし					
2	テニス部の危機	学校生活，集団生活の充実	*		*		
3	カラカラカラ	自主，自律，自由と責任	*		*	*	
4	ジコチュウ	相互理解，寛容	*				*
5	松葉づえ	友情，信頼	*	*			*
6	消防団	社会参画，公共の精神		*	*		*
7	明日，みんなで着よう	公正，公平，社会正義	*				*
8	命が生まれるそのときに	生命の尊さ		*	*		
9	許せないよね	自主，自律，自由と責任	*				
10	あと一歩だけ，前に	よりよく生きる喜び			*		
11	異なり記念日	家族愛，家庭生活の充実			*		*
12	夢中になるのは悪いこと？	節度，節制		*			

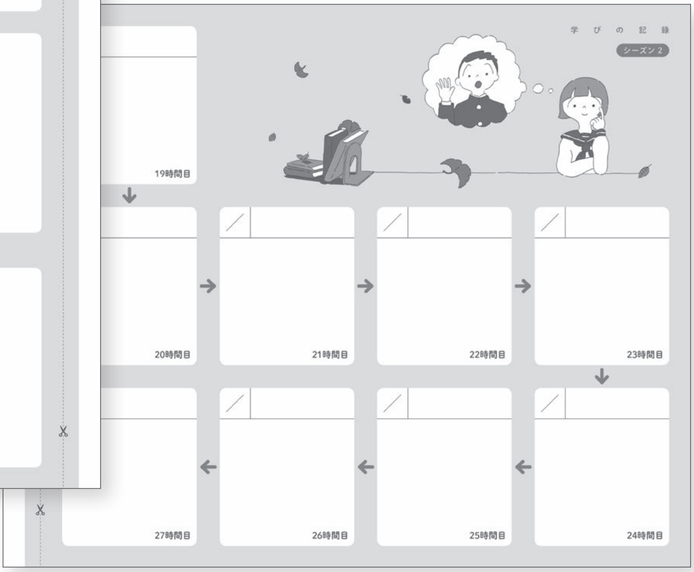
p.188-189「教材別テーマ一覧」

シーズン（学期）ごとに使える，切り取り式の「学びの記録」を用意しました。

１時間ごとに，感じたことや考えたことを書き留められるシートです。読み返すことで，自分の学びの変容や成長を振り返ることができます。表裏１枚で１シーズン分の見やすい体裁で，先生方が，長期的に生徒を見取っていく材料の一つとして活用することもできます。



〈表〉



〈裏〉

巻末折込「学びの記録」シーズン2

2. 対照表

[第2学年]

区分	図書の構成・内容	視点※1 A	B	C	D	学習指導要領の内容 内容項目	該当頁	配当時数	配当学期	
	巻頭詩						表2-1			
自覚をもって	1　道徳の授業を始めよう!	○	○	○	○	内容項目を限定しない	6-9	1	一学期12時間	前期17時間
	2　テニス部の危機			○		よりよい学校生活，集団生活の充実	10-13	1		
	3　カラカラカラ	○				自主，自律，自由と責任	14-16	1		
	4　ジコチュウ		○			相互理解，寛容	17-20	1		
	5　松葉づえ		○			友情，信頼	21-25	1		
	6　消防団			○		社会参画，公共の精神	28-32	1		
	7　明日，みんなで着よう ※2			○		公正，公平，社会正義	33-36	2 (1)		
	深めたいむ						37-38	(1)		
	8　命が生まれるそのときに				○	生命の尊さ	39-42	1		
	9　許せないよね	○				自主，自律，自由と責任	43-46	1		
	10　あと一歩だけ，前に				○	よりよく生きる喜び	47-49	1		
	11　異なり記念日			○		家族愛，家庭生活の充実	50-54	1		
広い視野で	12　夢中になるのは悪いこと?	○				節度，節制	58-62	2 (1)	二学期15時間	
	深めたいむ						63-64	(1)		
	13　秀さんの心		○			礼儀	65-68	1		
	14　段ボールベッドへの思い			○		勤労	69-72	1		
	15　一枚の布から			○		我が国の伝統と文化の尊重，国を愛する態度	73-77	1		
	なんだろう　なんだろう		○			相互理解，寛容	78-79			後期18時間
	16　私の町			○		郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度	80-83	1		
	17　スカイツリーにかけた夢	○				真理の探究，創造	84-88	1		
	18　民主主義と多数決の近くて遠い関係			○		遵法精神，公徳心	89-92	2 (1)		
	深めたいむ						93-95	(1)		
	19　「桃太郎」の鬼退治		○			相互理解，寛容	96-98	1		
	20　むこう岸には			○		国際理解，国際貢献	99-105	1		
	21　僕の仕事場は富士山です				○	自然愛護	108-113	1		
	22　宇宙の始まりに思いを寄せて				○	感動，畏敬の念	116-120	1		
	23　つながる命				○	生命の尊さ	121-123	1		
	24　優しさの光線	○				向上心，個性の伸長	124-128	1		
よりよい生き方を求めて	25　人って，本当は?				○	よりよく生きる喜び	130-133	1	三学期8時間	
	26　夢の力	○				希望と勇気，克己と強い意志	134-138	2 (1)		
	深めたいむ						139-141	(1)		
	27　嫌われるのを恐れる気持ち	○				向上心，個性の伸長	142-144	1		
	28　気づかなかったこと		○			思いやり，感謝	145-149	1		
	29　クロスプレー			○		公正，公平，社会正義	150-155	1		
	30　泣きすぎてはいけない				○	生命の尊さ	156-161	1		
	31　道徳の学びを振り返ろう	○	○	○	○	内容項目を限定しない	162-164	1		
付録	32　箱根駅伝に挑む	○				節度，節制	166-169		適宜	
	33　アイヌの歌を歌いたい	○				希望と勇気，克己と強い意志	170-173			
	34　アンネのバラ			○		国際理解，国際貢献	174-177			
	35　泣いた赤おに		○			友情，信頼	178-183			
	日本各地の世界遺産			○		我が国の伝統と文化の尊重，国を愛する態度	185-187			
							合計時数	35		

※1　視点の内容　A：主として自分自身に関すること　B：主として人との関わりに関すること　C：主として集団や社会との関わりに関すること
D：主として生命や自然，崇高なものとの関わりに関すること

※2　[枠] は複数時間扱いの教材を表す。